

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

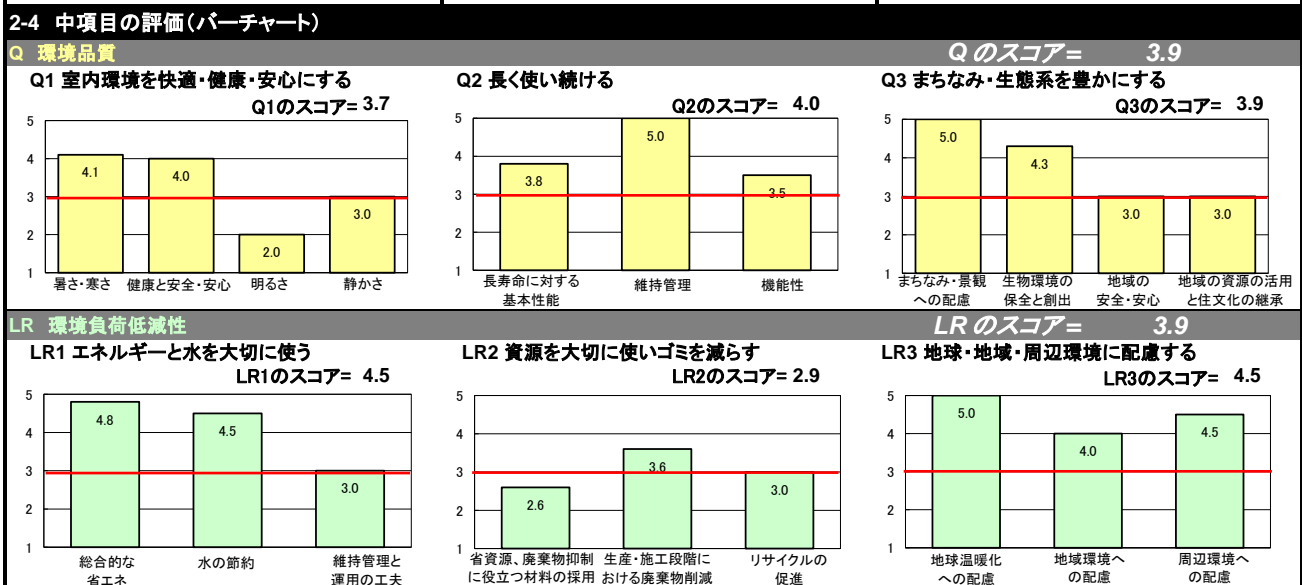
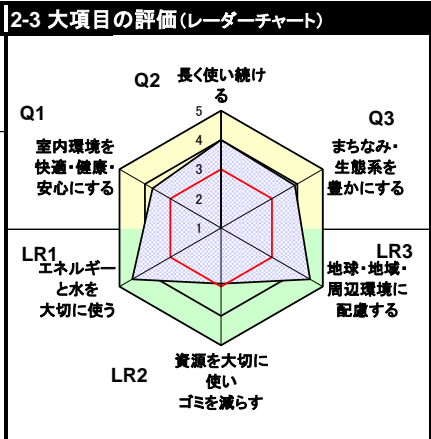
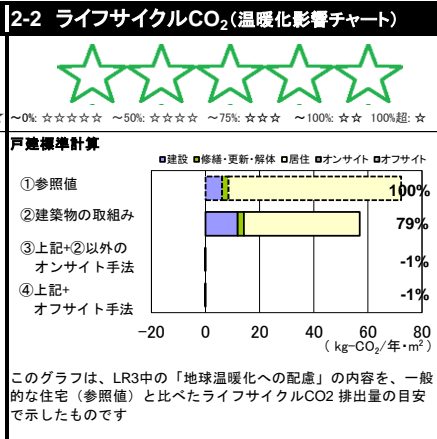
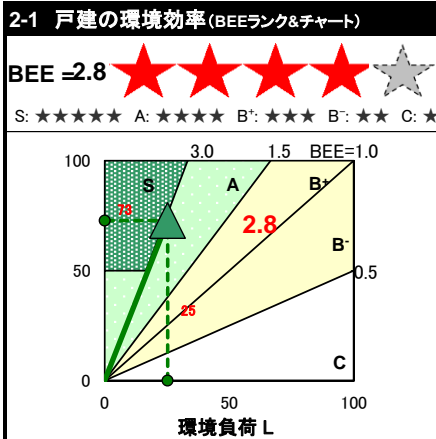
■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2018年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC_2018v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	倉持 信吾様 邸		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2022年6月	予定		持ち込み家電等	確定
建設地	埼玉県八潮市鶴ヶ曾根1539-2			外構の仕様	確定
用途地域	第1種住居地域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造在来	確定	評価の実施日	2022年3月15日	
階数	2		作成者	株式会社 OKUTA	
敷地面積	119 m ²	確定	確認日		
建築面積	66 m ²	確定	確認者		
延床面積	91 m ²				
世帯人数	2	確定			



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
断熱性能と高効率な設備機器を採用し快適な暮らしを実現しながら環境負荷を抑え、周辺環境にも配慮する事で地域社会とともに長期にわたり健康で安心・安全な省エネルギー住宅とその維持管理にも配慮し持続可能な住まいを提案する		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 樹脂サッシを採用し外皮の断熱性能向上と熱交換機を採用する事で冷暖房負荷を軽減し快適な温熱環境を維持する事で健康に暮らせる住まいを計画する	Q2 長く使い続ける 耐震等級3を取得し長期にわたる維持管理計画を実施すると共に維持管理に必要な相談窓口として社内のアフターメンテナンスの部署と連携し定期的な点検・修繕が提供できる体制作りを行っている	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 地域や周辺環境への配慮として低木や地被植物と芝を計画し街並みとの調和を図るとともに、建物の外観・数調に配慮し良好な景観形成に寄与するよう計画する
LR1 エネルギーと水を大切に使う 設計段階において太陽光発電だけに依存しないよう高効率給湯器・熱交換換気、節水節湯設備を採用する事で一次エネルギー消費量の削減に配慮する	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 構造躯体用部材の生産・加工段階における廃棄物削減の取り組みとして、プレカット工場での加工を採用。また資源活用として古紙からセルロースファイバーへの製造を自社で行い、断熱材として採用している。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 従前の地形表土を保全しつつ、新植する樹木には自生種を採用している。また騒音発生源を隣地境界点から必要な距離を確保して計画する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)